Shokuhin News Neo -2016 March-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品·栄養化学研究室 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1−1 自然科学総合研究棟2号館211号室 電話078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin



News

卒業論文発表会

4月7日(金)、卒業論文発表会が開催された。今回発表を行ったのは池崎大志(B4)、吉川啓明(B4)、渡辺衛央(B4)の3名。この日のために毎日遅くまで研究室に残って準備を続けてきたようだ。発表では様々な質問やアドバイスを受け、今後の研究を進めていく上でのヒントが得られたのではないだろうか。

【卒論タイトル】

池崎大志

小腸に発現する TRP チャネルの 解析

吉川啓明

腸管炎症抑制効果を有する乳酸 菌に関する研究

渡辺衛央

クロロゲン酸およびその代謝物が 肝細胞の脂質代謝に及ぼす影響



発表を行う吉川(B4)。今後の展望についての質問を受け回答している場面。

B4 の発表が終了した後、来年度 から本研究室のメンバーとなる学 部3回生と外部生の自己紹介が 行われた。



自己紹介を行う奥野葉月(B3)。見た目に似合わず、激しい音楽をきくのが好き だそうだ。



発表終了後の記念撮影。発表が無事 終わりほっとした様子。左から池崎 (B4)、前田(B3)、吉川(B4)、渡辺 (B4)。おつかれさまでした!

追いコン

卒業論文発表会が修了した後、 卒業・修了する研究室メンバーの 追いコンが開催された。研究室で の飲み会はこれが今年度最後と いうことで、いつもより飲みすぎた メンバーも、、。



左から岡早紀子(M2)、網野紗代(M2)、 嘉正雄太(M2)。一緒に過ごせる残り少 ない時間を楽しんでいるようだ。



毎年恒例、卒業生が今後の抱負について述べる時間。山下紗枝(M2)が発表

する横でごはんに夢中な岸田佳織(M1) に目が行く。

博士学位授与式

3月24日(木)、出光佐三記念六 甲台講堂において平成27年度博士学位授与式が開催され、本研究室からは谷野有佳(D4)が出席した。谷野は"Studies on the anti-allergic effects of F-fucoidan"というタイトルで学位論文を提出し、博士(農学)を取得した。念願の博士号を取得し喜びの真っただ中にいる谷野からコメントをいただいた。

ようやく、念願の学位がとれて嬉しく思います。今後は今までとは違う内容の研究になると思いますが、今までの知識、経験をどうにか活かして頑張りたいと思います。また遊びに伺います。

D4 谷野



谷野(D4、左)と水野雅史教授(右)。これまでの学生生活を振り返りながら学位記の重みを噛み締めたのではないだろうか。

卒業式

3月25日(金)、平成27年度の卒業式が開催された。本研究室からは博士前期課程を修了する網野紗代、岡早紀子、嘉正雄太、福浦晃、宮本岳、山下紗枝、学部を卒業する池崎大志、吉川啓明、渡辺衛央が出席した。



学位記を持って記念撮影。上段左から 山下(M2)、宮本(M2)、福浦(M2)、網 野(M2)、岡(M2)、下段左から嘉正 (M2)、池崎(B4)、吉川(B4)、渡辺 (B4)。

夕方からは農学部棟において応 用生命化学コースの懇親会が開 催された。この懇親会では様々な 研究室の卒業生・修了生が各研 究室に挨拶回りを行う。本研究室 ではピザを用意し、やってくる卒 業生・修了生たちを迎え入れた。



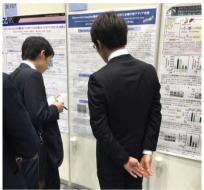
用意されたピザやお酒を楽しむ研究室 メンバー。左から藍原祥子助教、渡辺 (B4)、岡(M2)、山下(M2)、池崎(B4)、 宮本(M2)。



来年度から社会人となる卒業生・修了生には色紙とお菓子がプレゼントされた。左から吉川(B4)、網野(M2)、岸田(M1)。反対に、卒業生・修了生から研究室へは新しいプリンターが贈呈された。大切に使わせていただきます。

日本農芸化学会 2016年度大会

3月27日(日)から3月30日(水)にかけて、札幌市にて日本農芸化学会2016年度大会が開催された。本研究室からは網野(M2)、嘉正(M2)の2名が参加した。2人にとっては、学生としてはこれが最初で最後の学会発表となるが、有終の美を飾ることはできたのだろうか、、?



ポスターに興味をもってくれた人と話を する嘉正(M2)。



会場の前でクラーク像のポーズをとる 水野雅史教授(左)、網野(M2、中央)、 琉球大学の玉城先生(右)。北海道を 満喫したようである。

国際学会

3月29日(金)から3月31日(木)にかけて、京都にて国際学会である Global Conference on Life Science and Biological Engineering 2016 が開催された。本研究室からも学生が参加し、パイナップル果実由来グルコシルセラミドによる皮膚機能改善効果についてポスター発表を行った。海

外からの参加者と交流し貴重な 経験となったようだ。

論文·学会発表

学会発表)

日本農芸化学会2016年度大会

札幌コンベンションセンター、札 幌市産業振興センター

2016年3月27日(日)-30日(水)

〇網野紗代、橋本堂史、中村紫乃、藍原祥子、水野雅史「アリルイソチオシアネート代謝物が肝細胞の脂肪蓄積に及ぼす影響に関する研究」大会プログラム集 p.32

O嘉正雄太、橋本堂史、藍原祥子、水野雅史「マラリア原虫 Plasmodium berghei 感染 ICR マウスにおける硫酸化多糖の抗マラリア効果」大会プログラム集p.58

Global Conference on Life Science and Biological Engineering 2016, 29-31 March, 2016, Kyoto, Japan.

OOka, S., Hshimoto, T., Ohto, N., Kuwahara, H., and Mizuno, M. Oral Administration of Pineapple Glucosylceramide Improves Skin Barrier Function by Enhancement of Collagen Production in Hos:HR-1 Hairless Mice. Conference Program p.140

編集後記

3月はたくさんのイベントがありましたがやっぱり一番思い出に残ったのは卒業式です。来年から人数も減り不安もたくさんありますが、新しいメンバーも迎え、気持ちを新たに過ごしていきたいです。

中村紫乃(M1)